

Office の「リボン」とは

ここで勉強すること

- Office のあたらしいボタン群
- いつも隠れているタブ

Office のあたらしいボタン群

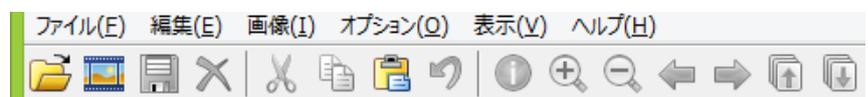
Office2007 以上の Office では、他のソフトとは違うかたちのボタン群があります。



これは、「リボン」と呼ばれるもので、上に付いている文字だけのボタン(「タブ」と呼びます)を切り替えて使いたい機能を探し、絵の描かれたボタンをクリックすることで、機能呼び出します。

2003 までの Office では、他のソフトと同じように、よく使われる機能のボタンのみを並べた領域がありました。これを「ツールバー」と呼びます。

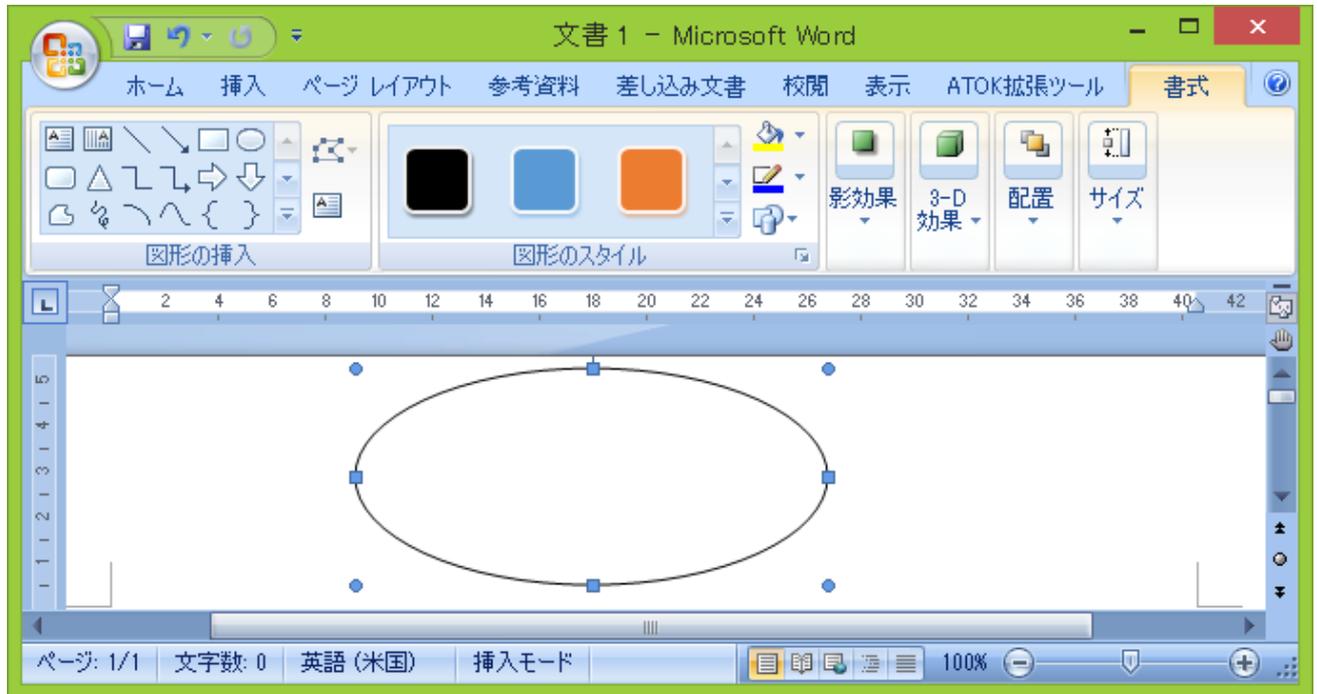
このようにツールバーがあるソフトでは、よく使われる機能は「ツールバー」から。それ以外の機能は「メニュー」から使用します。



Office2007 以降の「リボン」は、それら「ツールバー」と「メニュー」という区切りを無くし、メニューとツールバーの機能を組み合わせた、あたらしい仕組みになっています。

いつも隠れているタブ

リボンには、いつもは見え、何かの図形や絵をクリックしたときにだけ表示されるタブがあります。



このタブには、クリックしたものを操作するためのボタンが集められています。

図形をクリックすると、リボンの一番右に、他と違う色でタブが表示されますので、注目してみてください。



以下によく見かけるタブを紹介します。

クリック(選択)するもの	表示されるタブ
図形	図形を操作するための「書式」タブ
表	表のデザインを変える「デザイン」タブと、行や列を増減させる「レイアウト」タブ
グラフ	グラフのデザインを変える「デザイン」タブと、グラフの見せ方などの設定を変える「書式」タブ